

低コストファンドシリーズのバランス型ファンド設定 - 「たわらノーロード バランス(8資産均等型)」 -

アセットマネジメントOne株式会社(東京都千代田区、取締役社長 西恵正、以下「AM-One」)は、新ファンド「たわらノーロード バランス(8資産均等型)」を7月28日に設定、運用を開始します。楽天証券株式会社ならびにマネックス証券株式会社が7月28日から、株式会社SBI証券が8月2日から取り扱いを開始する予定です。当ファンドは、2017年1月に拡充されたiDeCo(個人型確定拠出年金)制度に加え、2018年1月にスタートする「つみたてNISA」を通じての購入も見据え、ひろく個人投資家の資産形成のための利便性の高い商品として設定します。

2015年にスタートした「たわらノーロード」は、申込手数料なしで購入できるファンドシリーズです。長期の資産形成に適した商品提供の一環で、国内最大級の運用資産残高を誇るAM-Oneがその規模を活かし、信託報酬を抑えて提供しています。この「たわらノーロード バランス(8資産均等型)」は、各資産クラスの代表的な指数に連動するインデックス運用を行う8つのマザーファンドを投資対象とします。AM-Oneは精緻なインデックス運用を得意とし、投信および投資顧問ビジネスを通じて国内外の機関投資家などに提供しているほか、第三者機関からの受賞実績も毎年多数あります。¹

この度、当シリーズからはじめてバランス型ファンドの「たわらノーロード バランス(8資産均等型)」を設定します。既存の「たわらノーロード」にはなかった新興国債券をあわせた国内・海外(先進国・新興国)の株式・債券・リート²の8つの資産に均等に投資するバランス型ファンドです。

これまでの「たわらノーロード」は単一の資産に投資するファンドで、個人投資家をご自身のポートフォリオに合わせて選んで投資できる投資信託として紹介してきました。この度の「たわらノーロード バランス(8資産均等型)」に投資するお客さまには、ご自身で資産クラスごとの商品を選び、それぞれ購入する手間がなくなる、リバランスをする手間がなくなる、分散投資によるリスク低減が図れる、といったメリットがあると考えられます。

AM-Oneはこれからも、機関投資家向けビジネスの規模やノウハウを活かし、個人投資家の資産形成に資する運用サービスのご提供に努めてまいります。

以上

1 当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

2 リートは国内と先進国のみ。



たわらノーロード バランス(8資産均等型)追加型投信/内外/資産複合

【ファンドの費用】 購入時手数料：なし ■換金手数料・信託財産留保額：なし ■運用管理費用：年率0.2376%（税込）以内 その他費用・手数料：売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用等

【ファンドの投資リスク】くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。基準価額の変動要因は、次に限定されるものではありません。株価変動リスク、リートの価格変動リスク、為替リスク、金利リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク 当ファンドは実質的に、株式や債券、リートなどの値動きのある有価証券等に投資します。このため、ファンドは株・債券・リート市場の変動、不動産等の価値や賃貸収入等の変動、金利の変動、為替相場の変動、組入る有価証券等の発行者にかかる信用状況の変化、市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等の影響により、組入れた有価証券等の価値が下落し、基準価額が下落することがあります。これらの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当ファンドは、株式や債券、リート等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をします。市場環境、組入る有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。当資料における内容は作成時点（2017年7月10日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約53兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP： <http://www.am-one.co.jp/>

運用資産残高は2017年3月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会